

# 社会医療ニュース

## リハの評価基準が 第三者評価にならないか

所長 岡田 玲一郎

またハビリのハナシか、とい  
われる人がおられるかも知れない  
が、それはわたしも同じなのであ  
る。研修先の病院の人ばかりでは  
なく、研修先とは関係のないリハ  
のスタッフの人から、リハビリの  
制度上、運営上の矛盾をよく聞く  
のである。とにかく、制度上も運  
営上もきつちりなさっている病院  
と、制度の穴を突くような運営を  
なしている病院のギャップは大  
きい。永続的な利益を追求する運  
営と目先の利益の奪守に追われて  
いる病院との格差である。

### リハビリのスタッフの モチベーションの問題

満々できびきび動くのが、経営に  
は一番いいのである。

それが逆に、後ろめたい気分が  
身体から発散し、結果、職場での  
動きがギクシャクしているリハビ  
リの職員が多い現場もある。もし、  
収入の面だけでみれば、後者のほ  
うが収入は上かもしれない。しか  
し、いつときは収入が上がつても  
一~二年のモノであり、長期的に  
みたら他のリハビリ病院よりも収  
入が下がつていたという経験は、  
痛いほどしてきた筈である。それ  
が、再びではなく三度も四度も起  
きてくるのである。それはあたか  
う愚問とまつたく同じなのである。  
「7対1看護を維持するにはどう  
したらいいんでしょうね」とい  
う愚問とまつたく同じなのである。

病院として、リハビリとして、  
生産性を高めようとするなら職員  
のモチベーションが一番大事であ  
る、とわたしは思う。また、経験  
則としても職員のモチベーション  
が低下すると生産性は低下してい  
る。PTもOTもSTも、やる気  
入は上がる。しかし、永続性がな

いどころか、やがて法的に淘汰さ  
れてしまっている。社員はその不  
当な経営をまったく気にしない社  
員と退職していく社員に二分する  
のである。病院でも、不当な経営  
は内部告発されているではないか。  
ここ1~2年で気づいたことだが、  
優秀な医師がじわじわ増えていつ  
ている病院は、真っ当な医療に邁  
進している病院なのだ。リハビリ  
にも、同じことがいえる。真っ当  
なりハビリ病院が、経営の永続性  
を高めているのである。

### 回復期とはなにかといえば 幅が広いものである

回復期リハビリテーションとは  
なにか?もちろん、ADLや障  
害が回復していくプロセスにある  
もので、リハビリが通る路である  
ことに間違いない。

その回復期だが、急速に回復す  
るケースと徐々に回復していくケ  
ースが確実にある。その両者を同  
じ回復期と称し診療報酬の対象と  
するのは当然だ。しかし、なかなか  
か回復しないどころか、段々AD  
Lが低下していくケースもある。

一般的の会社、だつて、同じである。  
不當な商法で経営していれば、收  
入は上がる。しかし、永続性がな  
いのではないのだろうか。それも、短  
期間に一定レベルに達したりハビ  
リは高く評価してよいし、患者さ  
らの症状がいかに重くとも、期間  
が長い(診療報酬の消費が多い)  
場合は低く評価するのが経済の原  
則だと思うのである。

### 社会医療研究所

〒114-0001  
東京都北区東十条3-3-1-220号室  
電話 (03) 3914-5565 代  
FAX (03) 3914-5576  
定価年間 6,000円  
月刊 15日発行  
振込銀行 行  
りそな銀行  
王子支店 1326433  
振替口座 00160-6-100092  
発行人 岡田 玲一郎

れも回復期と称してよいのか、わ  
たしは疑問に思う。たぶん休日加  
算だと思うのだが、年寄りの患者  
さん数名(ばあちゃんばかり)が  
「日曜日ぐらいリハビリを休ませ  
て欲しい」という肉声を、わたし  
の耳で直接聞いた。回復期リハ病  
院のリハビリ室でのことだ。

また、リハのスタッフも同じこ  
とを言わせたことがあり、複雑な  
心境だと語っておられた。維持期  
リハなら、日曜日までリハビリを  
しなくてもよいのではなく、うか  
うかリハビリには素人であるわた  
しは思う。また、維持できないで  
じわじわとADLどころか体力が  
落ちる患者さんもおられる。これ  
を回復期リハの対象にしてよいの  
かと、リハビリに素人のわたしで  
も思うのである。

どうすればよいのかと問われれ  
ば、まずは回復期リハの定義を定  
めるべきだ。いや、それは定義し  
てあるといわれるかもしれないが、  
回復期リハの現場では先の矛盾が  
起きていることは事実である。素  
人考えでいえば、「どこまで回復  
したか」は必要だが、それまで  
「何日かかったか」も必要なので  
はある。このことは、些細な問題では  
なく重大な問題だというわたしの認  
識は間違っていない。どの府県に  
行つても「ナンデ、そこが回り  
ハの入院料Ⅰなのか……」という  
疑問を聞くではないか。また、以  
前にも書いたが回りハ病棟の師長  
がわたしに「要看護度はどうで  
もなります」と言つたときの表情  
が忘れられない。

要看護度という評価基準はある  
けれど、第三者評価ではないから  
オーナーのご機嫌をとる師長が出  
てきててしまうのだ。きちんと評価  
基準を出しているリハ病院(棟)  
が多いだけに、わたしは納得でき  
るものではない。そして、健康保  
険を支払っている被保険者意識を  
疾病では、ちがいは少ない筈だ。  
FIMでもよいのだが、そのスコ  
アがある時点に達する期間は同一  
ではないのだろうか。それも、短  
期間に一定レベルに達したりハビ  
リは高く評価してよいし、患者さ  
らの症状がいかに重くとも、期間  
が長い(診療報酬の消費が多い)  
場合は低く評価するのが経済の原  
則だと思うのである。

これは、絶対に看過できないこ  
となのである。

## 組織医療としての病院

(304)

### —名経営者から学ぶこと—

新須磨病院

院長 澤田勝寛

先月、香川県看護協会から、認定看護師サードレベル研修会で「経営者論」というお題をいただき講演をする機会があつた。今回のような「新ネタ」依頼はいい刺激となる。

以前から経営者については、興味があり松下幸之助をはじめとする、いわゆる名経営者の本は結構読み漁っていた。今回の依頼をきっかけに、下準備として10冊ほどの本を、再読したり新たに読んでみたので、そのさわりをご紹介する。

まずは、松下幸之助の話をさせていただく。幸之助は、PHPという出版社を設立して多数の著書を世に残した。哲学的なものから、経営論、人生論など様々である。今回新たに読んだのは、アメリカの経営学者ジョン・P・コッターが書いた「幸之助論」である。

明治27年和歌山の比較的裕福な家庭に生まれたが、4歳の時に父親が相場で大損をして家は没落。9歳で大阪の宮田火鉢店で丁稚奉公を始めた。厳しい住込み生活で夜になると母恋しくて泣いていたといふ。9歳といえれば小学校3年。時代が違うとはいえる、これがわが子なら胸がはり裂ける。初めても

らつた5銭の給金に感激して報酬のありがたさを知った。

その後、五代自転車店に勤めを替えた。自転車は当時、今的小型自動車並みの高級商品であり値段交渉が難しい。13歳で初めて自転車を買った。当初、客の値引きに折れて1割引きとしたが、店主が5分引きしか認めなかつた。客と店主の板挟みになり困つたが結局客が5分引きで納得してくれ、売買が成立した。14歳で同僚の不正を見つけ店主に訴えた。店主は許そうとしたが、幸之助は許してはいけないと食い下がつた。この一件で、けじめの大切さを身をもつて知り、松下電器を興してから経理を大切にするきっかけとなつた。太閤記や里見八犬伝などを愛読し、義理・人情・規律・信賞の経営学者ジョン・P・コッター必罰を学んだ。

店主五代音吉から、商売に対する強い信念、適正利潤の必要性といつた船場商法を学び、苦労を叩き込まれた。音吉には、五兵衛という全盲の兄がいた。盲目でありながら不動産斡旋も行ない、家に入つただけで家の値打ちがわかつたといふ。幸之助は、工場に入つただけで工場の問題点がわかつたといわれているが、この音吉から

プロの真髄を学んだのであろう。

16歳で関西電力の前身である大阪電燈に入職。7年間勤務した後、24歳で妻とその弟（井植歳男）三洋電気創業者）との3人で会社を設立した。伝説の二股ソケットは当時あまり売れず、扇風機アイロン、電熱器、ラジオなど次々とヒット商品を売り出し、松下

の部品などで食いつないだ。その後、自転車のランプが大ヒットし、敗しながら48歳で創業。「ラーメンを売るな食文化を売れ」と号令をかけ、96歳で没するまでチキンラーメン、カツブヌードルを売り続けた。昼食はもちろんチキン

ラーメン。いつも創意工夫を重ね、亡くなる3日前までゴルフをしていたといふ。

本田宗一郎は今までいう典型的なヤンチャ者。子供の時からガキ大将。勉強よりも機械いじりが大好き。「油で汚れた作業着が俺の晴れ着だ」と公言するほどの現場人間。初めての海外視察でプラスねじを見つけ日本に持ち帰つた。これでねじが緩みにくくなり、機械の強度があがつた。仕事に必要な講義だけ聴いたといふ。仕事に打ち込み散髪にも行げず、仕事の傍らで奥さんが髪を切つていた。

イエロー・ハットの鍵山秀三郎の「凡事徹底」は仕事の基本である。便所掃除を通じて心を磨く「掃除の一番に掲げている。「勝九敗

間仕事に集中」を「企業家10戒」

と本の題にもなつていて、負戦も多く経験しているのが大きな強みでもある。

イエロー・ハットの鍵山秀三郎の「凡事徹底」は仕事の基本である。便所掃除を通じて心を磨く「掃除道」でも有名。

名経営者は間違ひなく働き者。逃げない、めげない、くじけない、あきらめない。細かことに気が付き、決して手を抜かない。説得上手で人を元気づける。高い目標を掲げいつも情熱の火を燃やしていく。そして、仕事が大好きで、誇りと高い倫理観を持っている。

以上。取り留めもなく名経営者のエッセンスを書いてみた。敬称略にご容赦を。

こぼれても、ぐれても不思議ではない境遇に育ちながら、世界有数の家電メーカーを作り上げた幸之助とは、どんな人だったのかと、何冊も本を読んだ後でも思つてしまふ。1989年95歳で死亡。

チキンラーメンで有名な日清食品の安藤百福は、何度も事業で失敗しながら48歳で創業。「ラーメンを売るな食文化を売れ」と号令

をかけ、96歳で没するまでチキンラーメン、カツブヌードルを売り続けた。昼食はもちろんチキン

ラーメン。いつも創意工夫を重ね、亡くなる3日前までゴルフをしていたといふ。

本田宗一郎は今までいう典型的なヤンチャ者。子供の時からガキ大将。勉強よりも機械いじりが大好き。「油で汚れた作業着が俺の晴れ着だ」と公言するほどの現場人間。初めての海外視察でプラスねじを見つけ日本に持ち帰つた。これでねじが緩みにくくなり、機械の強度があがつた。仕事に必要な講義だけ聴いたといふ。仕事に打ち込み散髪にも行げず、仕事の傍らで奥さんが髪を切つていた。

イエロー・ハットの鍵山秀三郎の「凡事徹底」は仕事の基本である。便所掃除を通じて心を磨く「掃除の一番に掲げている。「勝九敗

間仕事に集中」を「企業家10戒」

と本の題にもなつていて、負戦も多く経験しているのが大きな強みでもある。

イエロー・ハットの鍵山秀三郎の「凡事徹底」は仕事の基本である。便所掃除を通じて心を磨く「掃除道」でも有名。

名経営者は間違ひなく働き者。逃げない、めげない、くじけない、あきらめない。細かことに気が付き、決して手を抜かない。説得上手で人を元気づける。高い目標を掲げいつも情熱の火を燃やしていく。そして、仕事が大好きで、誇りと高い倫理観を持っている。

以上。取り留めもなく名経営者のエッセンスを書いてみた。敬称略にご容赦を。

い。社格、社徳を重視し、高い倫理観を常に追求した。

京セラの創業者の稻盛和夫は第一線を退いていたが、請われて復帰、見事JALを再建した。

仕事の結果×考え方×熱意×能力には納得するしかない。

日本電産の永守重信は元日以外年間364日働き通し。元気印ナシバーウンの現役社長。M&Aを繰り返しているが、ほとんど成功。信条は、「すぐやる、必ずやる、出来るまでやる」

ノーベル賞の山中教授が、つい  
うつかりだと思うが、「先生、次  
の目標はなんですか?」との問い  
に、軽い調子で、たしかにこう言  
われた。「みなさんに寿命いつば  
い生きてもらえるようにすること  
だな」と。

これは重大な発言だ。医療とは  
関係のない寿命というカーテンを  
おろされて、そのカーテンの向こ  
うには踏み込まれない、あくまで  
医療とは、このカーテンのコツチ  
側の話であることをワザワザただ  
されたのである。

ここで大胆な寿命を紹介しよう。  
この連載で良く出てくる天理教で  
ある。

この天理教の寿命は、ハギレ よくズバリ『百十五歳』とある。もちろん「その数字の根拠は？」と  
問い合わせた。これもハギレのいい答えがかえってきた。「それは、  
天理の神が、そうおつしやられた

「いや、文句ありませんか?」  
「いや、文句ありません。宗教では理屈をつけないのがいい。そうですか。天理の神が言われたことなら絶対ですね」と応ずると「お

たしかに、人間の命には寿命というものがあることを否定する人はいない。だから、ノーベル賞の先生も、言い換えれば、寿命いっぱいの百歳くらいまでは、みんな生きられるように、つまり長生きの研究をされるということを軽く言わされたのだと思う。別にここで

ベンを進める必要はないのかもしれないが、やつぱり気になるのが「この寿命とはなにか」ということだ。

国語辞典には、大体こんな意味  
のことが書かれていて。「宿命的  
に決まっている命の長さ」とある。  
「この洗濯機も寿命がきたな」と  
いつた使い方もされる。とにかく  
動かしようのない真理なのだ。で  
も気になるのは「この寿命といふ  
命の長さをだれが決めたのか。そ  
れは神さ」ここで終わってしまつ  
ていいのかな?

病床の心音(63)

# 天野進平

わかりですか」と言われた。天理教の信者は「しあわせ者」だとう他はない。

神の元に戻り、新しいこの世での生を授かる」それは、この連載で前に書いたが、とにかくどこかの妊婦のお腹の子の魂になるのです。ですから、天理教には浄土も天国もありません。永遠にこの世に生きるのですから、この世が永遠の

つまり、人生とは魂の世界であり、体は子孫繁栄のためのものなのだ。この世を生命体でいっぱいにしようというのが、造化の神の野心だったと思う。しかし多くの神は、造化の神が乱造させた魂でない生命体の始末に困っている。

らは、もう寿命がつきていたのだから、ただ生かす治療はすべきではなかつたのではないだろうか？

この細胞の研究が、この子らも助けるというのだろうか？

科学万能の時代だが、ノーベル賞の先生が寿命というコトバを使ふ

程度のことなのか？しかしノーベル賞の先生は「寿命いっぱい生きてもらうのが次の目標」だって。今、TVではアルジェのデモ隊がコブシを振り上げて、アラーと叫んでいる。人生は永遠のひとつさりにすぎない。

これも、自分の体は爆破して魂はアラーの元に急いだのである。別にアメリカ帝国主義に人間爆弾になつて一矢報いたなどとは考えにくい。つまり、世界のどこの宗教にも、体は借り物という思想がある。

で現代医療は生命を救つたといふのだろうか？ 介護のねえさんたちの表情も見てられなかつた。この子たちは、産まれる時に寿命がつきていいたのではないだろうか？ 山中教授が言つた「寿命いっぱい生きてもらいたい」だと、この子

寿命とはいわば「人生アソビ言葉」で罪がない。その名医で「寿命がのびた」なんてマジなものもあるが、例えば私の場合は、毎晩ベッドに行く前の「オールドパーのオンザロックで寿命がのびた」気分だからたわいない。寿命とはその

なんだろう?  
天野進平  
(脚本家、要介護度4)  
どうかな? テレビ  
でその難病の子の施設  
を撮っていたが、五感  
が機能していない子を  
抱きながら「私がママな  
よ」と涙にくれる図を見  
て思つた。こんな形

い。『寿命いつばい生かせるよう  
にする』など大きなお世話である。  
この世は「その人のその時まで生きる」ことなのさ。

活するのは魂、つまり心なのである。仏教でも、体は死と共に荼毘にふされ、魂はアミダ如来の西方極楽浄土で成仏する。もうひとつあまり知られてないが、ヤクシ如来の東方淨瑠璃世界があつて、魂は日光・月光菩薩の美足の元に生きるのである。イスラム教はアラーの天国がある。イラク戦争の頃、自爆テロというのが話題になつたが

ではナンのアプローチもない。それで他の神々はどんどん殺すことになつた。直接ではないが「死の美学」を作ることになつた。それが信仰である。

また、ノーベル賞の山中教授に戻る。教授は、受賞後の記者会見で「私のiPS細胞は、ノーベル賞の受賞で一段落となつた。これからは難病の子を実際にたすけた。

私は、精一杯バカさをさらけだして、寿命とは「来世に生きることと読めないだろうか?」と思う。つまり、寿命とは「来世に生きる」ことなのだ。いわゆる死に体は医療ではどうせ治せないのだ。死に体は火葬にして、魂が浄土に天国に行くのだ。

寿命とは、その旅立ちの時の神の啓示だと思うのだがどうだろう。寿命は医療が介在する世界ではな

極弊なのです。いいでしよう。  
しかし、天理教ばかりでなく、  
どこの宗教にも、このパターンは

つまり、造化の神は「産めよ増やせよ」と生命でいっぱいにしたが、その生命体の結末については、主

つたように、寿命という文字をもう一度読んでみたいと思う。寿命とは「ことぶきの命」なのだ。こ

人材育成の大鉄則は、病院・施設を地域の財産にすることだ。教育研修は、地域で高い評価を受けれる財産としての病院・施設にしてからやられたらよい。少なくとも良質で効率的を医療や介護を提供できる病院・施設の歩みを続けていかないと、人は育たない。

「なく人貰た」と言ひ乍らにはしげと顔を見てホンモノかどうかを判断するようしている。

職員すべてが財産ではなくて、どうしようもない悪材もいるのである。そんなことはない、財産として大切にしなければといわれても、わたしは職員に平等に接している。平等とは差別をつけることで、ダメな職員にはダメ対応で接することが平等というのだ。

## 人材育成も 四苦八苦が必要だ

四苦八苦 四苦八苦 四苦八苦 四苦八苦

四苦八苦 四苦八苦 四苦八苦 四苦八苦

卷之三

くれといわれる病院・施設はある。そんな所には、わたしは絶対にいかないてきた。

本末転倒という日本語は、それを表現するためにできた熟語ではないかと思うが、職員を人財にするもしないも、組織を社会の中での価値あるものにしようとする経営者上層部の気魄こそが基本なものである。具体的な事例でいえば、職

ともがく（病院・旅記）の質を高める不斷の努力が、人材育成の大前提だと、わたしはおもつていまの仕事をしている。教育研修に参加してくる参加者の教育はきつちりするけれど、それ以上に注力することは「いい病院にしましよう」と経営者に迫る気魄である。でも、職員のヤル気を出してくれとか、よく働く職員にして

ここでも、比率が出てくる。優秀な職員の率が高い病院と低い病院・施設のちがいである。

程度成熟している病院・施設で同じプログラムでやっている。  
研修参加者からお手紙などでも応を頂くことがあるが、これは嬉しいことである。そして、ごく近思うこととは、それぞれの病院施設が好き、という基本は忘れない。もちろん、教育研修参加者にもスタートでは好きでることが不可欠だ。

このように基本スタンスが決したら、人材育成の方法論、ハツチーはいくらでもある。わたし流で病院・施設によつて、わたくし流で病院・施設によつて、ロゴラムをかえている。例えばA病院の教育研修プログラムが病院に通じるとは限らないからである。もちろん、先に述べたある。

い医療を求めているんだなあと  
信させられる刻だ。

この  
療  
不  
師  
や  
せ  
参  
午

## こんなこと やってる

岡田 前月号で、  
材確保はダイレ  
クトにつながる  
離職者防止につ  
いて、有給休暇  
取得率が高くな  
るような“施策”  
が必要だと書いた。  
た。地域での併  
金水準より著  
く低い賃金のために離職率が高いの  
なら、賃金水準を上げるしか方  
法はない。そんな病院はいまやな  
いと思うが、要は、なんで退職者  
が多いのかという原因を徹底的に  
追究し、その原因を排除する施策

四

こんなこと

やつてる

四四

前月号で、

こんなことやつてゐる

岡田 前月号で、人材確保はダイレクトにつながることについて、有給休暇の取得率が高くなるような“施策”が必要だと書いた。地域での集材編が離職者防止において、有給休暇の取得率が高くなるためには、離職者防止にかかるコストがかかるのである。

く低い賃金のために離職率が高いのなら、賃金水準を上げるしか方法はない。そんな病院はいまやないと思うが、要は、なんで退職者が多いのかという原因を徹底的に追究し、その原因を排除する施策を講じるしかないのです。

救命救急センターを有する病院では、人材確保は絶対に必要だ。医師がどんどん辞めていく原因はなんだ、看護師の不足状態が継続する原因はなんだろうと、追究していくしかない。

もちろん、原因が单一であることは現場ではあり得ない。その複数の原因をひとつひとつ、あたかもモグラタタキのように潰していくしかない。この「いくしかない」は大事にしているフレーズだ。愚痴を言えば問題が解決するなんてあり得ないどころか問題が増幅してしまうのである。しかし、人間、とまどつたり自身も含めて、心したいこと

管理職研修も、管理のできる管理職を多くすることで、中堅層の離職を少なくする効果はある。そして、管理できない管理職が悪いのではなく、管理を身につけさせないで管理職に任命する病院側の油断もあることを、経験してきた。来月は別の例を紹介する。  
(続)

# この一ヶ月の 喜怒哀樂



◎そんなに掘つていいの?  
シエルガスだのレアースだのといつて、地球をどんどん掘つていく。しかも、かなり深いところまでだ。ボクはその分野では素人だから、そんなの素人考えと退けられるかもしれないが、いつかドカラーンと陥没するか大地震を誘発するような気がしてならない。

そもそも、爆弾低気圧なんて昔はなかつたし、竜巻の被害なんて聞いたこともなかつた。地球が人為的に壊されていると書いたら、そんな非科学的なことを言つてから便利な世の中にならないんだと、言われるだろうな。

人間科学とか、人間関係論とかいわれるけれど、人間なんて絶対はないし理論では生きていけない。「人類は皆兄弟」なんていわれているけれど、そんなストーガンで人間間の争いはなくならないではないか。だから、わたしは非科学の世界を支持するし、そこで生きてゆく。人間関係は、シエルガスの掘削みたいにはいかないのだ。世界中が、人間同士が争つて現実、殺し合いの現実をどうみる

かが問われていよう。

だからわたしは、自然で生きていくし、人間関係を探求しようとは思わない。だが、ひとさまそのものは探究したいと思う。探究と探求は大ちがいだ。

強調する人に接すると、ボクはいつも「アンタ、やつてみせて」と

心の中でつぶやいている。ソイツターはやつてないけど……。

再び航空会社モノだ。経営がよくなりると社員意識も高まる。JALには、確かにそれをみる。いつ

いくし、人間関係を探求しようとは思わない。だが、ひとさまそのものは探究したいと思う。探究と探求は大ちがいだ。

かが問われていよう。

強調する人に接すると、ボクはいつも「アンタ、やつてみせて」と

心の中でつぶやいている。ソイツターはやつてないけど……。

再び航空会社モノだ。経営がよくなりると社員意識も高まる。JALには、確かにそれをみる。いつ

◎昔の人の強さは、どこから

熊本によく行くが、熊本城を見

つけ睫毛は当用漢字ではないか

付け睫毛は当用漢字ではないか

付け睫毛は当用漢字ではないか

ついも心を打たれるのは、あの城壁の大きな石をどこから、どうやって運んだのか、である。ましてや、武者返しなんてどうやつて組んだのかと、組んである現実を見て感心する。

コマツの巨大な機械、クレーンなどはなかつただろうに、城壁や武者返しは現存しているのである。スカイツリーを見ても、そんな想いが湧いてこないのは、なぜだ。營々と築くという表現がある。城壁も、おそらく營々と築かれ、犠牲者も出したであろう。ひとりの犠牲者も出さなかつた（たぶんスカイツリーとは、モノがちがう。病院や福祉施設も、建物は昔とちがつて優秀な技術と建機で容易にできるようになつた。しかし、そこで運営に携わる管理職や一般職は、毎日が難苦の連続で容易ではない。昔とあまり変わつていないのである。城壁の大きな石を積み上げていった昔の人の辛苦も、

付けて八重歯も、戦前にはないし、戦後でもごく最近になつて開発されたものだ。ディベロップメントという英語がピッタリの感じがするところが、おもしろい。

汗、かいてるの!」と言つてしまつたキラキラ光る化粧も、ずいぶん前からのモノで、おばさん必需品のようだ。さしづめ、付け人間だろう。シーケレットブルツもそうだが、素の人間でいるひどくもなるから、男性も化粧するし眉毛の整形?もするのだろう。病院も、付け病院や付け医者をやる時代がきたら、どうする。バカな話ではなく、化粧された病院もある。いわゆる宣伝の多い病院だ。化かされる患者も患者だが、要するに、本物の病院と贋造の病院の見分けが国民に求められて

◎贋造好きな、若いひとと書いたが、贋造って読めるかな?

◎787、イロイロ教えてくれるボーリング787の機体は、昨年から今年にかけて異常を起こしてきました。燃料漏れから始まつて、バッテリーの高温化など、いろいろな原因がついているモノ、一週間は剥がれないと宣伝してあるモノ、いろいろある。

付け八重歯も、戦前にはないし、戦後でもごく最近になつて開発されたものだ。ディベロップメントという英語がピッタリの感じがするところが、おもしろい。

「汗、かいてるの!」と言つてしまつたキラキラ光る化粧も、ずいぶん前からのモノで、おばさん必需品のようだ。さしづめ、付け人間だろう。シーケレットブルツもそうだが、素の人間でいるひどくもなるから、男性も化粧するし眉毛の整形?もするのだろう。病院も、付け病院や付け医者をやる時代がきたら、どうする。バカな話ではなく、化粧された病院もある。いわゆる宣伝の多い病院だ。化かされる患者も患者だが、要するに、本物の病院と贋造の病院の見分けが国民に求められて

○787、イロイロ教えてくれるボーリング787の機体は、昨年から今年にかけて異常を起こしてきました。燃料漏れから始まつて、バッテリーの高温化など、いろいろな原因がついているモノ、一週間は剥がれないと宣伝してあるモノ、いろいろある。

付け八重歯も、戦前にはないし、戦後でもごく最近になつて開発されたものだ。ディベロップメントという英語がピッタリの感じがするところが、おもしろい。

「汗、かいてるの!」と言つてしまつたキラキラ光る化粧も、ずいぶん前からのモノで、おばさん必需品のようだ。さしづめ、付け人間だろう。シーケレットブルツもそうだが、素の人間でいるひどくもなるから、男性も化粧するし眉毛の整形?もするのだろう。病院も、付け病院や付け医者をやる時代がきたら、どうする。バカな話ではなく、化粧された病院もある。いわゆる宣伝の多い病院だ。化かされる患者も患者だが、要するに、本物の病院と贋造の病院の見分けが国民に求められて

きたのだ。それには、先月号でも書いたが、医療について制度も含めて住民教育をしている病院が本物だ。病院に無闇に受診するな、という病院だ。無闇矢鱈に受診を勧める病院は、付け病院だ。

そして、同じJALでもJALエクスプレスのCAは、JALよりも荒っぽい。JALでは入っているNHKラジオ放送は、JALエクスプレスではない。地上での事故や事件は飛行機の中ではラジオに頼るしかないことが、分かつていないのだ。想像だが、CAの待遇はJALエクスプレスの方が悪いように思えるのだ。

一月中旬、開港後間もない岩国錦帯橋空港でANAの職員が走り回っていた。なにか、憑かれたような動きだったのは、高松空港緊急着陸事故の翌日のせいか。「大変だねえ」と声を掛けたら、「ハイ」と緊張していた。そりやく不安だろう。

しかし、最近の空港は「錦帯橋とか「縁結び」とか、いろいろタイトルがつく、ね。

鳴物入りでボーリング787を導入したころだ。記念運行なんて、機体に大きく787とプリントした全日空さん、そこには思惑があつたのだろう。それが逆に経営の足を引つ張ることになつた

岡田

これがからの一ヶ月の  
不安・不運・不信



岡田

## 医療の沸騰点



— そう簡単にはいかない —

### 自分の望む死への覚悟 —

麻生太郎財務相の「さつさと死ねるようにして」発言への批判を、マスコミは報道している。発言した場所（公的会議）を問題にする人もおられるが、公的会議で建前だけ発言することこそが問題だと、わたしはおもう。麻生さんも麻生さんで「個人の考え方述べたもので、その部分の発言は撤回する」なんて言つてゐるんで、がつかり。わたしのような死生観の人もいり、延命治療を望む人もおられる。それぞれの意思を一番大事にしなければならない、と言つたら拍手したけどなあ。事実、一月下旬のNHKテレビで、かなり高齢のおじいちゃんが「わたしはできるだけの延命をして欲しい」と言っていた。リポーターが「人工呼吸器を着けてもですか」なんて余計なことを言つたら、首肯していた。それでいいんじゃない。

### 孤独死、孤立死は アンハッピーではない

右の小見出しは、まったくのわたくしの意見、私見である。クレジーチャツのメンバーのひとり

が、昨年、新宿区で亡くなつていることが報じられていた。わたしは、記事を見た瞬間、幸せな死だなあと思った。病院で亡くなる人のさまざまなかつたからだ。

新聞が三日分ぐら�新聞受けに残っていたので、ご近所の人が警察に届けたそうだ。

一瞬、おもつたことは、バルーンカテーテルも胃ろうもない状態でスリット亡くなつたんだろうなあ、という想像である。次にわたしの脳裏に去来したのは、人工呼吸器もなかつたろうなあ、というおもいであつた。

本人が寂しいおもいで死んでいた。それがどうかは、分からぬ。

だからわたしは講演などでは「寂しかつたかもしぬないが、わたしは病院で死ぬより孤立死を希望する。もちろん、病院でも子や孫に囲まれてスリット逝かせてくれればいいけれど、バルーンやベグをつけたままでご臨終では、いやだねえ」と言つてゐた。

同じことを、天本宏先生がいわく、「高齢社会をよくする」となんかいけない気になるのは、

### 自分の望む死への覚悟 —

そこで天本宏先生は「一人暮らしの人だと、孤独死が心配といわれるが、生活の場から切り離された病院での管理された死こそ、本当の意味での孤独死だと思う」と書かれている。おそらく、シンボラマシンボ」と称して「高齢者の命の終わりとケアを考える」という座談会の記事を掲載されていた。

天本先生に、管理された死の管理はものごとを意のままにするマネジメントの管理で、奉仕を意味するアドミニストレーションの管理じゃないですね、と手紙を書いた。死も意図的なマネジメントではなく、死にゆく人への奉仕の看とりでありてよいと、わたしはおもつてゐる。もちろん、私見だがわたしの意思もある。

親を苦しめて死なしてよいのかではなく、親の方の意見はこうこういうことなど、よくご説明することが必要だとおもう。

例えば、わたしは延命治療拒否者である。しかし、意識がなくなつたとき家族が冷静でいられるとなると、家族は家族であつてわたしではないのだ。よくいわれることだが、罪悪でもないのに罪悪なおもいが出てくるのは、家族として当然だと思う。なんにもしないでいいと言つたんだから、なんにもしないでくださいと言える家族は、全員ではあるまい。

わたし自身、どんな死に方をするのか想像もつかない。ただ、力を込めて述べておきたいことは、常に自分の望む死に方を主張しておることだ。いささか主張し過ぎとは思うが、そうおもう。

岡田

### 本人の意思であつても 家族には迷惑なこともある

本人のおもい、つまりどういう死に方をしたいかという意思是、あってよい。しかし、先にも述べたように、誰でも彼でも通用するたつて、いや、妻だつて延命したくなる、というより、延命しないくなる、といふことになるのは、至難の技だ

その困難をどうやって乗り越えられるかではなく、困難がある覚悟でそのときどきの流れに乗つていくしかない、とおもつてゐる。事実、本人にとつて望ましい看とりは増えている。一方で、看とり加算のための看とりもある。この一筋縄ではいかない人生を、自分

の望みどおりに生き、望みどおりに死んでいくのは、至難の技だと思つておきたい。わたしは、常に自分の望む死に方を主張しておることだ。いささか主張し過ぎとは思うが、そうおもう。

社会福祉法人 恩賜財団 済生会病院は、全国にいくつもある。10年くらい前だつたか、埼玉県の浦和で全国の病院長の会議で講演したことがある。いまでも鮮明に残っているのは「済生会病院といつても、いろいろだ」である。判断は、主として参加されていた各病院長の反応であつた。病院の価値は、トップである院長の医療観であり、根底にある人生觀によつて決すると経験則で思う。その済生会病院でも、済生会熊本病院は日本の全病院の中でもトップクラスの病院だ。その済生会熊本病院の名誉院長の須古博信先生が、昨年、受勲された。

## 友人は百薬の長



瑞宝小綬章で勲五等に当たるそうだ。その名称の価値より済生会熊本病院を現在の姿までもつてこられたのは、須古博信先生なので慶びも一入だつた。先月、その祝賀会が熊本であり、慶んで参加した。一月の十日のことだ。わたしは須古先生を只者ではないと思つたのは、病院が別の場所にあり、副院長になられたか副院長候補になられたかの頃だ。許されたいことは、わたしは昔のことは覚えようとする気はないし、記録を残すこともないから年月は記憶していない。済んだことは済んだことという人生観だ。ただし、只者ではないと感じた

こともそれぞれだ。

済生会熊本病院はご存じのとおり、クリニカル・パスのわが国でのパイオニアと評価されている。北米で、クリティカル・パスと称されていたものである。あのころ北米ツアード学んだクライティアが、現在のDPCに強く影響を与えていたものである。あのころ北米ツアードでも、須古先生は熱かつた。ホテルの部屋で、その日に行つた病院での想いを喧嘩譲譲、夜、おそらく熱く語り合つたことを、覚えている。憶えていると書くのが、正解だ。

わたしは幸にして、いい友人

理由は、はつきり覚えている。個人的に、今後の病院経営という新しいジャンルではなく医療観について話して欲しいということで、ホテルでお会いしたときだ。熱いのだ。わたしはわたしなりの医療観を語つたのだろうが、お互いの相性が合つた直感があつた。

その後の北米の病院視察ツアーハンには、須古先生や病院の医師や看護師、薬剤師の方などが参加された。もちろん、それぞれの職種によるものではなく、その視察ツアーハンで学ぶインパクトは、個人でそれぞれだ。同じツアーハンに参加している他の病院の人たちが感じている

友人間は生きている間に多くの友人ができたり、できなかつたりする。先に書いた相性は否定できない。相性は人間の証明だと思つてゐるが、それを理由に人間関係を疎遠にするのは、ちがうと思う。なにか、薄紙が一枚あつてどうにも外せない感じだが、その薄紙を厚紙にしてはなるまい。事業は人なりといわれているが、自分一人の人ではなく、友人によってなるものが成り、ならないものは成らないのだ、と思う。

須古先生とは、死ぬまで友人だろ。と書いて「先生というのはいけない論」を言われる人を想い出した。ボクは、自然に出る〇〇先生はいいんじゃない論者だ。だから、須古先生には須古先生だし、須古博信さんではない。

須古先生は、受勲の祝賀会のときの挨拶で、先の北米の視察ツアーハンの話を、わたしの名前を出してそれを実践された実績というまぎれもない事實を、スゴイと思った。わたしにとつては、嬉しいというより、有難い気持ちだつた。

タイトルに出したように、われわれ人間は生きている間に多くの相性は人間の証明だと思つてゐるが、それを理由に人間関係を疎遠にするのは、ちがうと思う。なにか、薄紙が一枚あつてどうにも外せない感じだが、その薄紙を厚紙にしてはなるまい。事業は人なりといわれているが、自分一人の人ではなく、友人によってなるものが成り、ならないものは成らないのだ、と思う。

須古先生は、死ぬまで友人だろ。と書いて「先生というのはいけない論」を言われる人を想い出した。ボクは、自然に出る〇〇先生はいいんじゃない論者だ。だから、須古先生には須古先生だし、須古博信さんではない。

## 広報的視点から、病院のビジネス構造の変革をサポートします。

病院経営の再構築の時代を迎えた今、私たちHIPは、貴院の将来ビジョン、そのための経営戦略・戦術における課題を見出し、そのためのソリューションとして、広報活動を組み立てます。アプローチの視点は三つ。戦略的広報、戦術的広報、日常的広報。いずれにおいても、病院経営者、そして現場の職員の方々と一緒に考え、貴院がめざす医療、病院の実現に向けて、あらゆる広報表現物をご提供します。



有限会社エイチ・アイ・ピー  
名古屋市中区富士見町7-12 センチュリー富士見1101  
TEL052-339-1645 FAX052-339-1646

貴院の広報をあなたといっしょに考えます。そして答えを出します。私たちはエイチ・アイ・ピーです。

### 広報で変わる 医療環境

DOCUMENTARY FILE

広報、情報の視点から病院経営を考えます。

第371回  
これからのがんの福祉と医療を実践する会

急速に進む少子超高齢社会、人口・世帯構造や疾病構造の変化、医療技術の高度化、国民の医療に対するニーズの変化など、医療を取り巻く環境は大きく変化している。ところが、国民皆保険実施から50年を経た今日でも地域内における医療機能情報・分化は不十分であり、必要な医療サービスには満足できず、しかも偏在している。また二次医療圏の見直し、公立・公的病院の再編や独立行政法人化等への組織改編、矢継ぎ早ともいえる施策が語られている。その核が、一〇九万床とも言われる一般病床の見直しではないだろうか。施設から地域へ、医療から介護へのキャッチフレーズの下、地域内における急性期病床の再編と統合を行ない、それを核として亜急性期、回復・療養期、介護、居住系、在宅へ、との流れを地域内につくろうとするものと考えられる。その中核である社会保障審議会医療部会では、昨年11月に「病床機能情報の報告・提供の具体的な方に関する検討会」の第一回会合を開き、これまでに延べ三回、行なわれてきた。現在のところ急性期病床の定義づけと分析を行なっているが、自施設が人口10万人規模の地域内でどのような医療介護福祉を行なうのか、できるのかを選択する時期が迫つてきている。

新宿区戸山1-22-1  
地下鉄東西線早稲田下車徒歩10分  
大江戸線若松河田駅下車徒歩8分



日 時 三月十五日（金）午後二時～四時半  
会 場 戸山サンライズ大会議室  
申込先 九州大学大学院医学研究院  
参 加 費 教授尾形裕也氏  
会 員 五〇〇〇円  
会員外 10000円  
Tel. 03-5834-1461  
Fax. 03-5834-1462  
...病床機能情報提供報告から

地域内における急性期病床の  
行方と介護福祉施設への影響  
（天野武城）  
お問い合わせ  
お礼の会の案内活動がストレス  
だつた。来てもらいたい人、もら  
いたくない人、ふた通りあるが案  
内はしなければならない。こんな  
ことがあるのが、人生なのである。  
▼病気は学習になる。苦しいこと  
が、いろんなことを教えてくれる。  
腸の具合の変遷、胃壁や身体全体  
などの反応、それぞれに苦しみと  
樂になつていくことを主張してい  
る。その点での薬は無力である。  
▼大嫌いな鳩山由紀夫さん、立候  
補したら「落選させる会」があ  
れば北海道九区に二～三日行くと公  
言してきた。大嫌いだけど「尖閣  
は係争地」はマトモな言葉だ。む  
ろんワタクシ的に、だ。飛行機は  
来る。船は来る。これぞ係争地だ。  
▼減貢したけれど広告も減らした  
ので、書く量は減らない。それも、  
忙しさと体力消耗を招いた。秘書  
も妻も「なんだか忙しいですね」と  
と言つていたから、独断ではない。

▼一月下旬、感染性胃腸炎で50年ぶりに嘔吐した。東京から大阪への新幹線の中で下痢気味だったが、頑張つて（↑ホント）宴席に行つた。顔色はいつもよりかなり悪かつた。焼酎の水割り三杯を飲んだ後、急に嘔吐をゲロゲロ。しみじみ、心身の疲労はいかんと思つた。

書き終え

命を守る最前線で。健やかな暮らしを願う心の中に。いつも星医療酸器はあなたといたい。

メーカー機能

品質、信頼性、安定性・・・  
全てのクオリティを求める結果が  
メーカー機能までを含めた独自の一貫供給体制です。



24hrs. 365days

Anywhere

深夜の緊急手術で、一刻を争う救急車内で・・・  
星医療酸器グループがお届けする医療用ガスは、  
命を支えるうえで重要な役割を担っています。  
だからこそ、24時間年中無休は私たちにとって当然のこと。  
正確に、迅速に供給し続けることこそ、  
ライフセーバーたる私たちの喜びです。

介護福祉機器関連事業

新しい生き甲斐や楽しみを見出せる。  
これらの介護福祉機器には、  
そんな品質基準があつても良いのではないか。  
それが私たちの喜びです。



メンテナンス機能

医療用ガス供給設備の設計・施工・保守管理まで  
メンテナンスを核に広がるビジネスフィールド。



介護付有料老人ホーム

価値ある人生を、よりすばらしいものに。  
笑顔の絶えることのない、穏やかな暮らしを私たちと共に



在宅医療事業

「生き方」がいま問われています。だからこそ  
もっと、普段着の暮らしに近づきたいと思いました。



JASDAQ  
証券コード: 7634  
株式会社

本社 〒121-0836 東京都足立区谷7-11-18 Tel 03-3899-2101 Fax 03-3899-2333

地域医療のさらなる発展のために  
**星医療酸器**

東京 03-3899-8855 西東京 042-532-8141 南東京 03-5434-8008 千葉 043-423-6111 館山 0470-27-6681 砧玉 048-591-6551  
北関東 0270-32-6181 柏木 0289-76-6311 長野 0263-59-3122 神奈川 0467-70-8831 京浜 044-329-4122 横浜 045-852-8170  
茨城 0299-48-0101 郡山 024-956-1800 東北 022-284-6294 札幌 011-671-3601 沼津 055-995-1551 静岡 054-655-2001  
名古屋 0567-94-6411 大阪 072-810-5000 尼崎 06-4868-8225 福岡 092-513-0024 宮崎 0985-48-0501 松戸 04-7178-8300  
千葉DC 043-424-1294

星医療酸器 URL <http://www.hosi.co.jp>

関星医療酸器東海 本社 0567-94-6411 西東京 042-532-8141 沼津 055-995-1551 静岡 054-655-2001  
名古屋 0567-94-6411 浜松 053-444-1433 沼津 055-995-1551 静岡 054-655-2001  
関星医療酸器関西 本社 072-810-5000 京都 075-646-1770 西神戸 078-974-8008  
大阪 072-810-5000 徳島 088-637-6494 和歌山 073-480-5355

（株）エム・シー 03-3899-8855  
（株）アイ・エム・シー 0299-48-4001  
（株）ケイ・エム・シー 0467-70-7661  
（株）星エンジニアリング 03-5837-2281  
（株）星コーポレーション 03-5839-8331